



## 奈良県立医科大学眼科ニュースレターVol. 19

### ご挨拶

教授 緒方奈保子



皆様いかがお過ごしでしょうか？

今年1月末ごろより日本でもCOVID-19の報道が毎日のように行われるようになり、2月初めに横浜に入港したダイヤモンドプリンセス号乗客の感染、その後イタリアの都市封鎖、3月には小中学校の休校、3月中旬よりは海外からの出国入国制限、パリの都市封鎖、3月24日にはオリンピック延期の決定、さらに4月7日に緊急事態宣言、と未だかつて無い状況を経験することになりました。

パリの人っこ一人いない海外の都市封鎖の状況やゴールデンウィーク期間中の閑散とした空港、鉄道駅、観光地、都心の状態が報道され愕然とする思いでした。飲食店は軒並み休業もしくはテイクアウトのみの販売、通勤通学の流れがなくなり街の様相が一変しました。どこにも行けず、その分、家の片付けや掃除はかなり進みましたが、Web漬けにもなりました。。。そのような方も結構多かったのではないのでしょうか。

(都市封鎖で変化するモナリザを見つけました。右図)



2月後半以降の学会、研究会、勉強会はほぼ全部中止となり、4月の日本眼科学会総会も残念ながらWeb開催となりました。Web開催となった日本眼科学会総会も初めてのことだったと思います。いつもなら各会場同時進行のため聴けない演題もWebなら好きな時間に好きなだけ閲覧できるというメリットもありました。音声が入っている講演は意外と分かりやすく、講演会場では聞き逃すとそれまでですが、ゆっくり繰り返し閲覧できました。会議もWebとなり、何回か会議を重ねるうちに何となく慣れて、まあ、これもアリかも、と新たな経験でした。しかし、系統講義はともかくとして学生臨床実習のWeb講義実習というのは何とも制限が多過ぎで。

緊急事態宣言中も通常通りの診療および手術を行っていた病院も多いようですが、奈良医大附属病院ではCOVID-19への対応が求められ、緊急事態宣言前の4月初めより緊急を要さない手術の延期および中止、さらに外来患者の3割削減が院長より指示されました。眼科で緊急を要さない手術となるとまずは白内障手術です。白内障手術予定の患者さんに医局員が手分けして直接電話で延期をお願いすることになりました。幸い緊急事態宣言の後、関西そして奈良では感染者の報告が急激に少なくなり、5月25日より手術稼働も通常への復帰が始まりました。一時は病院として地域連携からの新規紹介をお断りしていたようで近隣の先生方にはご迷惑をかけましたが、もう大丈夫です。どうか安心してご紹介ください。

今回のCOVID-19では色々考えさせられることも多くありました。感染症に対する認識も変化したように思います。抗菌剤、抗ウイルス薬、抗真菌薬、ワクチンなどの普及で感染症に対して私たちは認識が甘くなっていたのかもしれませんが、まだまだ、COVID-19感染に対する十分な配慮と予防が必要ですが、この経験を無駄にしないように引き続き努めていきましょう。

そして、ついに「安倍のマスク」が届きました。。。要らんけど。。。

## 新入医局員の紹介

今年度は5人の新入医局員をお迎えすることになりましたので、挨拶をして頂きます。

---

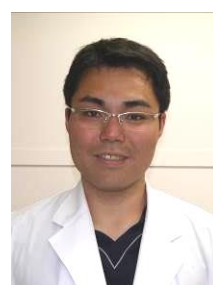
### 慶田真喜子

今年4月より奈良医大眼科学教室に入局させて頂きました慶田真喜子と申します。入局して2ヶ月経ち、少しずつですが眼科医として成長を感じる毎日が今はとても楽しいです。今後も、同期の仲間と切磋琢磨し合いながら、日々精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



### 寺田拓真

4月から奈良医大 眼科教室でお世話になっております寺田です。入局間もなく、ウイルスが世間を騒がし波風たつ船出となりましたが、同期にも恵まれ頑張りたいと思っております。よろしくお願い申し上げます！



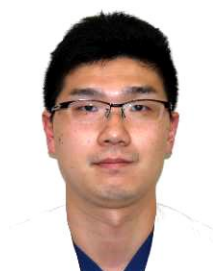
### 西山武孝

奈良県立医科大学後期研修医1年目の西山です。この度、眼科学講座に入局し、研修させて頂き運びとなりました。まだまだ若輩者で至らぬ点多いとは思いますが、将来の奈良県の眼科医療を担っていけるような眼科医に成長していきたいと考えていますので、暖かく見守っていただけますようよろしくお願い致します。



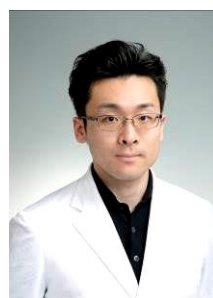
### 三島佑規

4月から奈良医大 眼科教室でお世話になっております。分からないことばかりで、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、責任を持ち医療に取り組んでいきます。一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



### 和田大史

本年度より奈良医大眼科医局員として眼科医療を学び邁進してまいります。絶えず学ぶ姿勢を持って、日々過ごしたく存じます。至らぬ点多いかと思いますが、諸先生方ご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。



## 異動の報告

竹内先生、平井先生が助教に就任しました。水澤先生、鴻池先生がはびきの医療センターに異動し、伴先生が南奈良医療センターに異動しましたので挨拶をして頂きます。

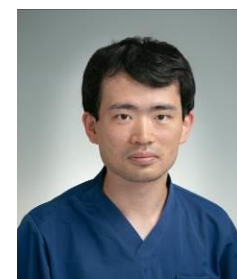
### 竹内崇

4月より助教として勤務することになりました、竹内崇です。  
 学生の講義や入局間もない先生への指導など、これまでにない仕事が多く、  
 試行錯誤しながら日々の業務にあたっております。  
 未熟であり、諸先生方にはご迷惑をおかけすることが多いかと存じます。  
 一生懸命精進してまいりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



### 平井宏昌

本年4月より助教を拝命しました。昨今のコロナウイルス流行に伴いまして色々と  
 難しい時期ではありますが、日々精進して参りたい所存ですので引き続き諸先生方  
 におかれましては今後もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



### 水澤裕太郎

雨に紫陽花の花が鮮やかにバえる季節となりました。みなさん如何お過ごしでしょうか。  
 ゆうたろう！やったろう！！です  
 月日が経つのは早くこのフレーズももうお馴染みとなってきていると思います。  
 「月日は百代の過客にて、行きかう年もまた旅人なり」  
 齢 30 を数年過ぎ、そろそろ人生という旅を一度見つめなおす時がきているのかも  
 しれませんね。今後も実りある人生にしたいものです。  
 あ、この度、はびきの医療センターに4月から赴任しております。  
 よろしくお願ひします。ゆうたろう！やったろう！！



### 鴻池純輔

本年4月から羽曳野医療センターに赴任いたしました。2年間の初期研修を含め、  
 4年間ずっと奈良県立医大で研修させていただきました。大学を離れるのは今回が初め  
 てであり、不安と緊張に戸惑いながら日々過ごしております。羽曳野医療センターに  
 は水澤先生と二人常勤で勤務しております。  
 まだまだ未熟でありますので、水澤先生ならびに大学から来てくださる先生にご指導  
 いただきながら、日々精進できたらと思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し  
 上げます。





## 開業の報告

吉川匡宣

2020年1月に父の跡を継承し大阪府河内長野市にて「よしかわ眼科クリニック」を開業致しましたのでご報告させていただきます。大学での勤務医時代には奈良医大同窓会の先生には大変お世話になりこの場を借りて深謝致します。

開業して思うのは、スタッフ問題と経営的な問題について悩みが尽きないということです。おそらくどのクリニックも同じような悩みを抱えているかと思いますが、勤務医時代には全く考えていなかったことです。特に現在は新型コロナウイルス問題があり経営手腕が問われる状況かもしれません。

開業後も緑内障と生体リズムに関する臨床研究をライフワークとして継続していく所存です。最後になりましたが研修医から大学院時代、そして奈良医大での勤務医時代まで継続的に臨床及び研究を熱心にご指導頂いた緒方奈保子教授に感謝致します。



中尾重哉

この度、父が院長を務める中尾医院に副院長として就任させて頂くこととなりました。昭和24年に祖父が開院した医院の継承に向けて、準備を始めた次第です。

医局員不足の中での退職となり、緒方教授をはじめ医局員の先生方にもご理解頂き、多くの温かい励ましの言葉を頂き感謝しております。

まだまだ未熟な身でありますので、ご厚意により週に1回の大学での外来、奈良県総合医療センターでの外来は継続させて頂いております。Medical Retinaに重点を置き、引き続き精進してまいります。

今後も今まで以上にご迷惑をおかけすると思っておりますが、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



## 受賞の報告

### 国際ソロプチミストあすか奈良女性研究者賞 受賞報告

西 智

「小児の弱視眼の網膜、脈絡膜の構造」という研究テーマで国際ソロプチミスト奈良—あすか女性研究者賞を頂きました。ソロプチミスト日本財団では、様々な分野で将来性のある研究をしている有能な女性を支援することを目的に女性研究者賞を授与されています。

### 日本白内障学会学術賞 受賞報告

吉川匡宣

令和2年「生体リズム障害に着目した白内障が健康へもたらす影響の検討」に対して日本白内障学会学術賞を受賞しましたのでご報告致します。本来であれば受賞記念講演が2020年5月29日に日本白内障学会で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響でWeb講演に変更となりました。

## 2019年 Outstanding Research Award 受賞報告

吉川匡宣

2019年12月14日に時間疫学研究会にて Outstanding Research Award を受賞しました。時間疫学研究会では毎年、当該年の時間疫学の発展に寄与した研究業績を挙げた研究者に Outstanding Research Award を授与しており、2019年は私の他に2名の研究者に同賞が授与されました。

## 学会の報告

西先生が 4th Japan-Taiwan Vitreoretinal Joint Meeting に、藤原先生が網膜硝子体学会に参加されたので報告させていただきます。

### 4th Japan-Taiwan Vitreoretinal Joint Meeting

西 智

2019年12月に長崎で行われた網膜硝子体学会と合同開催されました Japan-Taiwan Vitreoretinal Joint Meeting に参加させて頂きました。日本と台湾でそれぞれ隔年開催されております。台湾の先生方と台湾の眼科事情についてもお話することができ大変有意義な学会でした。



私は、遠視性不同視弱視眼の治療による脈絡膜構造の変化についてお話させて頂きました。英語のセッションで緊張しましたが、無事に終了し、安堵致しました。今後研究を進めていく勇気を頂き感謝しております。長崎では出島に行ったのですが、昔はこの小さな場所だけが世界への入り口だったのだなあと感慨深く思っていました。その数か月後、コロナウイルス感染拡大防止のために再び鎖国状態になるとは当時は思いもよりませんでした。

(右から)

北岡隆教授：長崎大学眼科、  
木下貴正先生：市立札幌病院眼科、  
Ramin Tadayoni 教授：パリ大学眼科、  
西、緒方教授)



### 網膜硝子体学会

藤原 克彦

2019年12月に第58回日本網膜硝子体学会総会にてポスター発表をさせていただきました。

発表は緊張しましたが緒方奈保子教授、辻中先生をはじめとする様々な先生方のご協力のもと、無事発表を終えたことを大変感謝しております。

また2020年4月には投稿もさせて頂き、大変貴重な経験をさせていただきました。

まだまだ未熟ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 論文掲載

講師の西先生、吉川匡宣先生の論文がアクセプトされましたので、ご報告頂きます。

### ①Effects of Cataract Surgery on Melatonin Secretion in Adults 60 Years and Older: A Randomized Clinical Trial.

JAMA Ophthalmology doi:10.1001/jamaophthalmol.2020.0206

Published online March 5, 2020. ahead of print

白内障手術がメラトニン分泌増加に及ぼす影響に関する無作為化比較試験

西智<sup>1</sup>、佐伯圭吾<sup>2</sup>、宮田季美恵<sup>1</sup>、吉川匡宣<sup>1</sup>、上田哲生<sup>1</sup>、車谷典男<sup>2</sup>、大林賢史<sup>2</sup>、緒方奈保子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>奈良県立医科大学 眼科学教室

<sup>2</sup>奈良県立医科大学 疫学・予防医学教室

白内障スタディでの研究結果が JAMA Ophthalmology に掲載されましたので報告させていただきます。

白内障手術は、内因性網膜神経節細胞で受容される非視覚的光情報を増加させることで、生体リズムと外部環境の同調を促進する可能性があります。今回の研究では、白内障手術が生体リズムの重要な指標であるメラトニン分泌量に与える影響を無作為化比較試験により明らかにしました。60歳以上の核白内障を有する患者169名を無作為に介入群83名(白内障手術群)と対照群86名に割り付けます。介入群では白内障術前、術後3か月の時点で、待機中の対照群では観察開始時と3か月後の尿中メラトニン量を測定しました。3か月後の尿中メラトニン量は、介入群は対照群より有意に高かったことがわかりました(25.9 vs. 18.6 ng/mg creatinine,  $p < 0.001$ )。介入群から対照群の尿中メラトニン量を引いた差は、ベースライン値および潜在性交絡因子の影響を混合線形モデルで調整した後も有意でした(0.159 log ng/mg creatine,  $p = 0.007$ )。白内障手術は、メラトニン分泌を増加させることで、生体リズムとともに全身状態を改善する可能性が示されました。

### ②Effect of Optical Correction on Choroidal Structure in Children With Anisohypermetropic Amblyopia

PLoS One 2020 Apr 23;15(4):e0231903. doi: 10.1371/journal.pone.0231903

西智<sup>1</sup>、上田哲生<sup>1</sup>、水澤裕太郎<sup>1</sup>、仙波賢太郎<sup>2</sup>、四宮加容<sup>2</sup>、三田村佳典<sup>2</sup>、園田祥三<sup>3</sup>、内野英輔<sup>3</sup>、坂本泰二<sup>3</sup>、緒方奈保子<sup>1</sup>

<sup>1</sup>奈良県立医科大学眼科学教室 <sup>2</sup>徳島大学眼科学教室 <sup>3</sup>鹿児島大学眼科学教室

遠視性不同視弱視眼に対する眼鏡治療による脈絡膜構造の変化に関する論文が PLoS One に掲載されましたので報告させていただきます。J-CREST study として、徳島大学、鹿児島大学に御協力頂き大変感謝致しております。以前我々は、小児の遠視性不同視弱視眼の脈絡膜構造を2階調化することで管腔成分と間質成分に分けて評価し、脈絡膜の管腔成分は弱視眼で有意に大きく、管腔/間質比においても弱視眼で有意に大きいことがわかりました。今回の研究では、眼鏡治療によって、脈絡膜構造は変化するのかについて調査しました。その結果、小児の遠視性不同視弱視眼に対する1年間の眼鏡治療により、弱視眼の脈絡膜構造は、眼鏡治療により管腔成分が減少し、間質成分が増加することがわかりました。弱視眼の脈絡膜構造は、治療することで、僚眼や健常眼の脈絡膜構造に近づいたのです。さらに、弱視眼においては、治療前に間質成分が多いことが視力の改善に関与していました。今後も研究をさらに進めていきたいと思えます。



### ③Decreased melatonin secretion in patients with glaucoma: quantitative association with glaucoma severity in the LIGHT study

J Pineal Res. 2020:e12662 in press

緑内障患者におけるメラトニン分泌減少：LIGHT study

吉川 匡宣 1)、大林賢史 2)、宮田季美恵 1)、佐伯圭吾 2)、緒方奈保子 1)

- (1) 奈良県立医科大学 眼科学講座
- (2) 奈良県立医科大学 疫学予防医学講座

緑内障は光感受性網膜神経節細胞(ipRGC)の障害から生体リズム障害を引き起こす可能性が示唆されている。実際に我々は緑内障患者で生体リズム障害の一つである夜間血圧上昇を報告している (Yoshikawa T, et al. Ophthalmology 2019)。しかし現在までに緑内障患者で生体リズム関連のパラメーターを検討した大規模な報告はない。そこで我々は生体リズム指標として広く用いられているメラトニン (松果体産生ホルモン) と緑内障の関連を横断解析した。

奈良医大通院中の緑内障患者 118 名 (平均年齢 71.1 歳) と地域住民対象の疫学研究 (平城京コホート) 参加者のうち緑内障を除外したコントロール 395 名 (69.8 歳) に対して、メラトニン分泌の指標である尿中 6-sulfatoxymelatonin 分泌量 (urinary 6-sulfatoxymelatonin excretion; UME) の測定を行った。

その結果、年齢・性別・糖尿病・慢性腎疾患などの既知の交絡因子で調整した多変量解析で、コントロール群と比較して緑内障群で UME が有意に低値を示し、また緑内障群内での比較でも、緑内障重症群で有意に低い UME を認めた。

結論、緑内障患者ではメラトニン分泌が減少しており生体リズム障害が生じている可能性が示唆された。また緑内障患者におけるメラトニン分泌の低下は緑内障発症や進行に関連している可能性がある。

## 今後の予定

2020年9月17日(木) 第8回奈良県眼科まほろばフォーラム ホテル日航奈良

2020年9月19日(土) 第19回奈良県眼科万葉フォーラム THE KASHIHARA

2020年12月5日(土) 奈良県立医科大学眼科同窓会 シェラトン都ホテル大阪

新型コロナウイルス感染症の影響で、夏の同窓会をはじめ、いくつかの研究会が残念ながら中止となりました。感染状況を注視しながら、皆様に安心して参加いただけるように準備してまいりますので、医師はもちろん、研修医・ORTの皆様の参加を心よりお待ちしております。

詳しくは、教室ホームページをご覧ください。

## 外来診察表

		月	火	水	木	金
1診	午前	西	上田	手術日	緒方	手術日
	午後	小児・神経眼科外来	網膜硝子体外来	専門外来	網膜硝子体外来	専門外来
2診	午前	後岡	大熊(第1・3)	手術日	小林(第1・3・5)	手術日
	午後	網膜硝子体外来	小児・黄斑外来	専門外来	峯(第2・4)	専門外来
3診	午前	竹内	中尾	手術日	辻中	手術日
	午後	竹内	黄斑外来	専門外来	角膜外来	専門外来
4診	午前	鴻池	治村	手術日	水澤	手術日
	午後	鴻池	網膜硝子体	専門外来	水澤	専門外来
5診	午前		岡部	手術日	平井	手術日
	午後		岡部	専門外来	平井	専門外来
6診	午前		藤原			
	午後		藤原			

- ・専門外来は完全予約制です。
- ・初診の場合はまず、月・火・木の外来を受診するようお願い致します。
- ・地域連携の予約は月が6名、火・木が8名、水・金は5名可能となっております。

### 編集後記

平素は奈良県立医科大学眼科学教室の運営にお力添え頂き、誠に有難うございます。ニュースレターは、今回で19回目の発行となりました。コロナウイルスの感染拡大防止のため、同窓会も中止になりました。各学会、勉強会も中止になり、日常の有難さを痛感する毎日です。医学の不確実性を皆が理解しつつ、医師はEBMに基づいた医療を推進していかなければいけませんね。情報の選択が今後益々重要になっていくように感じます。ニュースレターでは引き続き、同窓会の諸先生方からのご投稿をお待ちしております。先生が日頃感じておられることや、趣味のお話など、どのような内容でも結構です。ご投稿、ご質問などは下記メールアドレスまでよろしくお願い致します。

tomon@naramed-u.ac.jp 奈良県立医科大学 眼科 西 智